

講義の目標: 政治学の基礎的な概念等の理解
「デモクラシー」及びそれを支える「制度」と「人間」に対する社会科学的な視点の習得

参考書: 岩崎正洋編 (2011) 『ガバナンス論の現在—国家をめぐる公共性と民主主義』 勁草書房
岡田浩・松田憲忠編 (2009) 『現代日本の政治—政治過程の理論と実際』 ミネルヴァ書房
杉田敦 (2001) 『デモクラシーの論じ方—論争の政治』 ちくま新書。
山本啓編 (2008) 『ローカル・ガバメントとローカル・ガバナンス』 法政大学出版局
その他, 第 1 回授業で紹介します(下記「参考文献」も参照してください)

成績評価: 定期試験(この試験の成績のみに基づいて評価を行います)

講義概要: 参考文献は飽くまで補助的なもので, 講義は必ずしもこれらの文献に忠実に従うものではありません

0. デモクラシーのための政治学

キーワード: 科学, 哲学, 規範, デモクラシーの理念と現実, 制度, 人間(市民)

参考文献: 加茂利男他 (2007) 『現代政治学(第3版)』 有斐閣: 序章

1. デモクラシーにおける対立と議論

キーワード: 合意形成, 多数決原理, 熟議

参考文献: 『デモクラシーの論じ方』: 第 1 章

2. デモクラシーにおける議会と代表

キーワード: 直接民主主義, 間接民主主義, 議会主義, 行政国家, 代理人モデル, 受託者モデル, 市民参加, ガバナンス

参考文献: 『デモクラシーの論じ方』: 第 5-6 章

『現代日本の政治』: 終章(特に第 3 節)

『ガバナンス論の現在』

『ローカル・ガバメントとローカル・ガバナンス』: 第 2 章

阿部齊 (1973) 『デモクラシーの論理』 中央公論社: 特に, 第 3 章

中道寿一編 (2011) 『政策研究—学びのガイダンス』 福村出版: 第 13 章

川崎修・杉田敦 (2012) 『現代政治理論(新版)』 有斐閣: 特に第 6 章

齋藤純一・田村哲樹編 (2012) 『アクセス デモクラシー論』 日本経済評論社: 特に第 5 章

3. デモクラシーのための「市民」の育成

キーワード: 「善き市民」, 能動的市民, 「十分な市民」, シティズンシップ, シティズンシップ・エデュケーション, 政治的社会化

参考文献: 『ガバナンス論の現在—国家をめぐる公共性と民主主義』

阿部齊 (1973) 『デモクラシーの論理』 中央公論社

内田満他編 (1975) 『現代政治学の基礎知識』 有斐閣: 86-87 頁, 115-117 頁

齋藤純一・田村哲樹編 (2012) 『アクセス デモクラシー論』 日本経済評論社: 特に第 8 章